

## 地域の自然に 親しみを



**北**は山、南は海に囲まれる大塚小。PTAは子どもたちに地元の自然に親しんでほしいという思いから、地域の催しに積極的に関わっている。

春には学校近くの「さがらの森」で開催される、参加者が自然を活用した出し物を行う「森の文化祭」に参加。のこぎりで竹を切る時間を競う「竹切り」や、竹で下駄を作って遊ぶ「カポカポ作り」、自然の物を使った「自然工作」などを企画し、訪れた子どもたちを楽しませた。



森の文化祭では、子どもと一緒に「神楽の舞」の演奏も。

海岸沿いをPTAと子どもたち、地域の人が力を合わせて清掃する。



「こんなに拾ったよ！」クリーン活動で集めた大量のゴミ袋に、みんな満足げ。

「次はもっと早く切るよ！」

「カポカポに乗るの、難しいけど楽しい。」

自然の材料を用いるため、準備には時間がかかる。それでも、子どもたちが森の中で元気に動き回る姿に、PTAは幸せを感じるようだ。

また、初夏には地域の人たちと協力し、「海岸・里山クリーン活動」を行う。小学生だけでなく中高生も参加する大規模な活動で、清掃場所は近くの海岸と里山、通学路。PTAは道具の準備や子どもたちの手助けをしながら、空き缶やビン、漂着物を回収し、大量の草を刈り取る。

「海や山がきれいになって、うれしい。」

参加した子からはこんな声も聞こえた。

子どもたちが身近な自然とふれ合い、またそれを大切にする意識をもてるようにするのがPTAの願い。その思いは、きつともう届いている。

PTA  
2015.05  
探検